

Title	初等函数ノ特徴付ケ
Author(s)	春木, 博
Citation	全国紙上数学談話会. 263 p.117-p.125
Issue Date	1944-06-10
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/75109">https://doi.org/10.18910/75109</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 1176. 初等函数ノ特徴付ケ

春 木 博 (神戸高等商船學校)

## § 1. 指数函数ノ特徴付ケ

指数函数  $\sum_{n=0}^{\infty} \frac{z^n}{n!}$  ハ解析学ニ於テ、重要ナル意義ヲ持ツ。今之レヲ種々ノ方面ヨリ特徴付ケテ見ヨウ。

**定理1**  $f(z)$  ヲ或ル領域  $D$ ニ於テ、一價正則ナル函数トシ、且ツソコデ、函数方程式  $f(z_1 + z_2) = f(z_1)f(z_2)$  ヲ満足スルナラバ  $f(z) = e^{\alpha z}$  デアル。但シ茲ニ、 $\alpha$  ハ任意ノ複素常数トシ、 $f(z) \equiv 0$  ナル場合ハ除ク。

**定理2**  $f(z)$  ヲ或ル領域  $D$ ニ於テ、一價正則ナル函数トシ、且ツソコデ、微分方程式  $f'(z) = f(z)$  ヲ満足スルナラバ  $f(z) = \alpha e^z$  デアル。但シ  $\alpha$  ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

**定理3**  $f(z)$  ヲ整函数トシ、且ツ次数  $\rho$  ノ  $0$  ナル値ヲ取ラナケレバ  $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$  デアル。但シ  $\alpha$  ナラザル任意ノ複素常数デ、 $\beta$  ハ任意ノ複素常数トスル。

以上ノ三定理ノ証明ハ容易デアル。

**定理4**  $f(z)$  ヲ或ル領域デ、一價正則ナル (恒等的ニハ常数デナイ) 函数トシ、ソノ領域デ、 $|f(z)|$  ガ  $x$  ノミノ函数ナラバ、 $(z = x + iy)$ 、 $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$  デアル。但シ  $\alpha$  ハ  $0$  ナラザル任意ノ實常数トシ、 $\beta$  ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

(証明)  $f(z)$  は恒等的=常数デナイ正則函数デアラカラ、  
 $D$ ノ適當ナ部分領域  $D^*$  デハ  $f(z) \neq 0$  デアル。

故ニ、 $\varphi(z) = \log f(z)$  トオケバ  $\varphi(z)$  ハ  $D^*$  = 於テ、一  
價正則デ、且ツ  $f(z)$  ノ假定カラ  $\{R\{\varphi(z)\} = \varphi(z)$  ノ實数  
部分ヲ表ス}

$$R\{\varphi(z)\} = p(x)$$

茲ニ  $p(x)$  ハ  $x$  ノ ミノ調和函数ナル故  $p(x) = \alpha x + \beta$   
但シ  $\alpha, \beta$  ハ任意ノ實常数デ  $\alpha \neq 0$  ナリトスル。

之ヨリ  $f(z) \neq 0$  レバ  $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$  トナル。但シ  $\alpha$  ハ  
 $0$  ナラザル任意ノ實常数デ、 $\beta$  ハ任意ノ複素常数ナリト  
スル。

以上ノ四定理ニ於テ  $f(z) = e^z$  トスルニハ 定理1 = 於  
テハ  $f'(0) = 1$  ( $D$ ガ原点ヲ含ムトスル), 定理2 = 於テ  
ハ  $f(0) = 1$  ( $D$ ガ原点ヲ含ムトスル), 定理3 及び 定理4  
= 於テハ  $f(0) = 1, f'(0) = 1$  等ノ假定ヲ附ケ加ヘレバ  
ヨイ。

筆者ハ、教物記事 Vol. 25, No. 7 July, 1943 = 於テ次ノ  
理ヲ証明シタ。

定理5  $f(z)$  ノ原点ヲ含ム或ル領域  $D$  = 於テ一價正則ニ  
シテ、且ツ  $D$  = 於ケル  $f(z)$  = 關スル *Betragfläche*  
ノ凡ベテノ點ガ拋物點ナル函数トシ、更ニ  $f(0) = f'(0)$   
 $= 1$  ナラバ、 $f(z) = e^z$  デアル。

次ニ函数ノ單葉性ニ依リ初等函数ヲ特徴付ケテ見ヨウ。

先ヅ指数函数カラ始メル。ソレニハ次ノ *Bieberbach*

1 定理及び Löwner 1 定理が基本ナル。

Bieberbach 1 定理  $f(z) = z + a_2 z^2 + a_3 z^3 + \dots + a_n z^n + \dots$  が  $|z| < 1$  で一價正則且ツ單葉ニシテ、 $a_2 = 2e^{i\theta}$  ナラバ

$$f(z) = \frac{z}{(1 - e^{i\theta} z)^2} \quad \text{デアル。但シ } \theta \text{ ハ任意ノ實数ナリト}$$

スル。

Löwner 1 定理  $f(z) = z + a_2 z^2 + a_3 z^3 + \dots + a_n z^n + \dots$

が  $|z| < 1$  で一價正則且ツ單葉ニシテ、 $a_3 = 3e^{2i\theta}$  ナラバ

$$f'(z) = \frac{z}{(1 - e^{i\theta} z)^2}$$

デアル。但シ  $\theta$  ハ任意ノ實数ナリトスル。

定理 6  $f(z)$  が  $0 < \varphi(z) < 2\pi$  ( $\varphi(z)$  ハ  $z$  ノ虚数部分ヲ表ハス) デ、一價正則且ツ單葉ニシテ、次ノ(1), (2) ノ中、何レカ一方ノ條件ヲ満足スルナラバ  $f(z) = \alpha e^z + \beta$  デアル。茲ニ  $\alpha$  ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数,  $\beta$  ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

$$(1) \quad f'(i\pi) = f''(i\pi)$$

$$(2) \quad f'(i\pi) = f'''(i\pi)$$

(証明)  $g(z) = f\left\{2 \log \frac{i(1+z)}{1-z}\right\}$  トオケバ、 $f(z)$  = 関スル假定ニヨリ、容易ニ  $g(z)$  ハ  $|z| < 1$  ニテ、一價正則ニシテ且ツ單葉ナルコトガ判ル。

$g(z)$  ノ巾級数ニ展開スレバ

$$g(z) = f(i\pi) + 4f'(i\pi)z + 8f''(i\pi)z^2 + \frac{4}{3}\{f'(i\pi) + 8f'''(i\pi)\}z^3 + \dots$$

$f(z)$  の単葉性 = 依り.  $f'(i\pi) \neq 0$  ナル

故  $h(z) = \frac{g(z) - f'(i\pi)}{4f'(i\pi)}$

トオクトキ

$$h(z) = z + \frac{2f''(i\pi)}{f'(i\pi)}z^2 + \frac{1}{3}\left\{1 + \frac{8f'''(i\pi)}{f'(i\pi)}\right\}z^3 + \dots$$

(1) ナル條件が満足サレバ、 $h(z)$  は  $|z| < 1$  デ正則且ツ  
單葉デ  $z^2$  の係数が 2 ナル故 Bieberbach の定理 =  
ヨリ ( $0 = 0$  ナル場合)

$$h(z) = \frac{z}{(1-z)^2}$$

同様ニシテ、(2) ナル條件が満足サレバ、前記 Löwner  
の定理 = ヨリ ( $0 = 0$  ナル場合)

$$h(z) = \frac{z}{(1-z)^2}$$

何レノ場合ニモセヨ、オキ成セバ  $f(z) = \alpha e^z + \beta$  ( $\alpha \neq 0$ )  
ノ形ナル。

上ノ定理ヨリ直ニ二次ノ系ヲ得ル。

**[系]**  $f(z)$  ヲ **[定理6]** の條件ヲ満足スル函数トシ、更ニ  $f(i\pi) = -1$ ,  $f'(i\pi) = -1$  ナラバ  $f(z) = e^z$  デアル。

§2. 次ニ三角函数ヲ **[定理6]** ヲ得タ時ト同ジメウナ方法  
ニヨツテ特徴付ケテ見ヨウ。

先ヅ  $\sin z$  カラ始メル。

**[定理7]**  $f(z)$  ガ  $-\frac{\pi}{2} < R(z) < \frac{\pi}{2}$  ( $R(z)$  ハ  $z$  ノ實数部分ヲ

表ハスルヲ、一價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ1ナル値ヲ取ラズ  $f(0)=0, f'(0)=1, f''(0)=0$  ナラバ  $f(Z) = \sin Z$  デアル。

(証明)

$$g(Z) = \frac{1}{f(i \log \frac{1+Z}{1-Z}) - 1} \quad \text{トオケバ、} f(Z) = \sin Z \text{ 假定}$$

定ニヨリ、容易ニ、 $g(Z)$  ハ  $|Z| < 1$  ニテ、一價正則ニシテ、且ツ單葉ナルコトが判ル。

$g(Z)$  ヲ巾級数ニ展開スレバ

$$g(Z) = -1 - 2iZ + 4Z^2 + \dots$$

$$h(Z) = -\frac{g(Z)+1}{2i} \quad \text{トオケバ}$$

$$h(Z) = Z + 2iZ^2 + \dots$$

$h(Z)$  ハ  $|Z| < 1$  ニテ一價正則且ツ單葉ニシテ  $Z^2$  ノ係数が  $2i$  ナル故、前記 Bieberbach ノ定理ニヨリ ( $\theta = \frac{\pi}{2}$  ナル場合)

$$h(Z) = \frac{Z}{(1-iZ)^2}$$

$$\text{オキ戻セバ、} f(Z) = \frac{e^{iZ} - e^{-iZ}}{2i} = \sin Z$$

次ニ  $\cos Z$  ヲ特徴付ケヨウ、

**定理 8**  $f(Z)$  が  $0 < R(Z) < \pi$  ニテ一價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ1ナル値ヲ取ラズ、 $f(\frac{\pi}{2})=0, f'(\frac{\pi}{2})=-1, f''(\frac{\pi}{2})=0$  ナラバ  $f(Z) = \cos Z$  デアル。

(証明)  $f_1(Z) = f(\frac{\pi}{2} - Z)$  トオケバ、假定ニヨリ、 $f_1(Z)$

$-\frac{\pi}{2} < R(Z) < \frac{\pi}{2}$  デー價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ  
 1ナル値ヲ取ラズ、 $f_1(0)=0$ ,  $f_1'(0)=1$ ,  $f_1''(0)=0$  ナ  
 ルコトが判ルカラ、

$$\boxed{\text{定理 7}} = \text{ヨリ} \quad f_1(Z) = \sin Z$$

$$\text{オキ戻セバ} \quad f(Z) = \cos Z$$

次ニ  $\tan Z$  ヲ特徴付ケヨウ。

$\boxed{\text{定理 9}} \quad f(Z)$  が  $-\frac{\pi}{2} < R(Z) < \frac{\pi}{2}$  デー價正則且ツ單葉  
 ニシテ、ソコデ 0ナル値ヲ取ラズ、 $f(0)=0$ ,  $f'(0)=1$ ,  
 $f''(0)=0$  ナラバ

$$f(Z) = \tan Z \quad \text{デアル。}$$

(証明) 定理 7ニ於ケル証明ノヤウニ、今度ハ

$$g(Z) = \frac{1}{f(i \log \frac{1+Z}{1-Z}) - i}$$

トオケバ、アトハ全ク同ジヤウニシテ出来ル。

次ニ  $\cot Z$  ヲ特徴付ケヨウ。

$\boxed{\text{定理 10}} \quad f(Z)$  が  $0 < R(Z) < \pi$  デ、一價正則且ツ單葉  
 ニシテ、ソコデ 0ナル値ヲ取ラズ  $f(\frac{\pi}{2})=0$ ,  $f'(\frac{\pi}{2})=-1$ ,  
 $f''(\frac{\pi}{2})=0$  ナラバ  $f(Z) = \cot Z$  デアル。

(証明)  $f_1(Z) = f(\frac{\pi}{2} - Z)$  トオケバ定理 9ニ歸着サレル。

以上ノ結果ヲ表示スレバ次ノ如クナル。

正則単葉領域	指定サレタ 除外値	函数及ビソノ導函数 値=ツイテ、條件	求ムル函数
$0 < \vartheta(z) < 2\pi$		$f(\pi i) = f'(\pi i) = f''(\pi i) = 1$	$e^z$
$-\frac{\pi}{2} < R(z) < \frac{\pi}{2}$	1	$f(0) = 0, f'(0) = 1, f''(0) = 0$	$\sin z$
$0 < R(z) < \pi$	1	$f(\frac{\pi}{2}) = 0, f'(\frac{\pi}{2}) = -1, f''(\frac{\pi}{2}) = 0$	$\cos z$
$-\frac{\pi}{2} < R(z) < \frac{\pi}{2}$	$i$	$f(0) = 0, f'(0) = 1, f''(0) = 0$	$\tan z$
$0 < R(z) < \pi$	$i$	$f(\frac{\pi}{2}) = 0, f'(\frac{\pi}{2}) = -1, f''(\frac{\pi}{2}) = 0$	$\cot z$

次  $\sec z$  ヲ特徴付ケヨウ。

**定理 11**  $f(z)$  が  $0 < R(z) < \pi$  デ単葉ニシテ、 $z = \frac{\pi}{2}$  デ極ヲ有シ、他ノ点デハ一價正則デ、ソコデ 0, 1 ナル値ヲ取ラズ、

$h(z) = \frac{1}{f(z)}$  トオクトキ  $h'(\frac{\pi}{2}) = -1$ ,  $h''(\frac{\pi}{2}) = 0$  ナラバ

$$f(z) = \sec z \quad \text{デアル。}$$

(証明)  $h(z)$  が定理 8 ノ條件ヲ満足スルコトカラ明カデアル。

次  $\operatorname{cosec} z$  ヲ特徴付ケヨウ。

**定理 12**  $f(z)$  が  $-\frac{\pi}{2} < R(z) < \frac{\pi}{2}$  デ単葉ニシテ、 $z = 0$  デ極ヲ有シ、他ノ点デ一價正則デ、ソコデ 0, 1 ナル値ヲ取ラズ、 $h(z) = \frac{1}{f(z)}$  トオクトキ  $h'(0) = 1$ ,  $h''(0) = 0$  ナラバ

$$f(z) = \operatorname{cosec} z \quad \text{デアル。}$$



(証明)  $h(z)$  が定理7の条件ヲ満足スルコトカラ明カ  
デアル。

§ 3. 二次式  $aZ^2 + bZ + c$  の特徴付け

筆者ハ数物記事 Vol. 25, No. 7, July 1943. 於テ、次  
ノ定理ヲ證明シタ。

**定理13**  $f(z)$  が  $R(z) > 0$  デー價正則且ツ單葉ニシテ  
ソコデ、次ノ(1) 或ハ(2)ノ条件ノ中、何レカー方ヲ満足  
スルナラバ、

$$f(z) = \alpha z^2 + \beta$$

デアル。但シ  $\alpha$  ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数,  $\beta$  ハ任意  
ノ複素常数トスル。

$$(1) \quad f''(1) - f'(1) = 0$$

$$(2) \quad f'''(1) + 3f''(1) - 3f'(1) = 0$$

次ニコノ定理ヲ利用シテ一次変換  $z' = z + \frac{b}{2a}$  ニヨリ  
容易ニ次ノ定理ヲ得ル。

**定理14**  $f(z)$  が  $R(z) > R(-\frac{b}{2a})$  デー價正則且ツ單葉  
ニシテ、ソコデ次ノ(1), (2)ノ中何レカー方ノ条件ヲ充ス  
ナラバ

$$f(z) = \alpha(aZ^2 + bZ + c)$$

デアル。但シ  $\alpha, a$  ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数,  $b,$   
 $c$  ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

$$(1) \quad f''\left(1 - \frac{b}{2a}\right) - f'\left(1 - \frac{b}{2a}\right) = 0$$

$$(2) \quad f'''(1 - \frac{b}{2a}) + 3f''(1 - \frac{b}{2a}) - 3f'(1 - \frac{b}{2a}) = 0$$

#### § 4. 巾函数ノ特徴付ケ

次ニ、巾函数  $z^n$  ( $n$ ハ正ノ整数)ヲ特徴付ケテ見ヨウ。

**定理15**  $f(z)$ ガ  $-\frac{\pi}{n} < \arg C(z) < \frac{\pi}{n}$  デ一價正則且

ツ單葉ニシテ且ツ  $(n-1)f'(1) - f^n(1) = 0$  ナラバ

$$f(z) = \alpha z^n + \beta$$

デアル。但シ  $n$ ハ正ノ整数ニシテ、 $\alpha$ ハ0ナラザル任意ノ複素常数、 $\beta$ ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

(証明)  $g(z) = f\left\{\left(\frac{1+z}{1-z}\right)^{\frac{n}{2}}\right\}$  トオイテ前述ノ方法ニ従ヘバ同様ニシテ出来ル。

**系**  $f(z)$ ガ定理 15ノ条件ヲ満足シ、更ニ  $f(1) = 1$ ,

$f'(1) = n$  ナラバ  $f(z) = z^n$  デアル。

-(完)-